

編集後記

「夏は冬に憧れて、冬は夏に帰りたい」と歌ったのはオフコースでしたが。あれだけ暑かった気候が急激に冬へ向かうと途端に残念な気持ちになってしまう春秋好きの日本人であります。未曾有の熊被害が連日報じられるなか、せめて自然災害の少ない冬を願いたいものです。

誌上ギャラリーはちょうど神頼みに相応しい(?) 霧島神宮朔日祭の模様を大山先生からお寄せいただきました。と身内を紹介できるのは気恥ずかしくも嬉しい役得です。ともに拝礼。

論説と話題は新たな地域医療構想に関するとりまとめを帆北理事にご紹介いただきました。現行体制の課題から目指すべき4つの基本的方向性が示され、新構想の策定と実行運営のための法令やガイドライン整備並びに予算確保が厚労省に望まれるとのことでした。

学術は3題です。いまきいれ総合病院呼吸器内科からは進行肺扁平上皮癌に対する免疫チェックポイント阻害剤と殺細胞性抗がん剤の併用療法中にサイトカイン放出症候群を発症した症例の報告です。IL-6 高値を早期確認しデキサメタゾン・アセトアミノフェン・トシリズマブの迅速な投与で重症化を回避できました。生協病院小児科からは小児アトピー性皮膚炎に対し生物学的製剤を導入して効果を得た2症例の報告があります。最後は鹿児島市内科医会9月例会の特別講演のご紹介です。咳嗽・喀痰の診療ガイドライン2025に基づく難治性咳嗽への治療選択について大阪の丸毛先生にお示しいただきました。咳過敏症候群という病態の解明と、病名当ての診療から「治療可能な要素」への介入という実践的転換が特徴とのことでした。

医師会病院だよりは「外科、リハビリテーション室の紹介」です。高齢化と人口減少への向き合い方、今できることの問いかけに考えさせられるものがありました。引き続き患者さんご紹介のほどよろしくお願い致します。

随筆・その他には小田原先生からの医療事故に関するライフワーク「医療現場が何故医療事故を誤解しているのか」と栗先生の長編随筆

「音楽の散歩道」をいただきました。リストとパガニーニという偉大な音楽家の活躍した背景にある歴史を知ることにより、更に音楽を深く理解することができます。リレー随筆は鹿児島医療センター研修医の今辻先生が趣味のキャンプについて生き活きと綴っています。不便を楽しむこと、予想外の出来事をどう工夫して切り抜けるか、焚き火の炎に心の落ち着きを得て自然と触れ合うことで活力を得る。そして美味しいご飯。先生方ご寄稿ありがとうございます。

区・支部だよりは今回ございませんが、各種部会だよりに市泌尿器科医会総会・市内科医会9月例会・市在宅医会事例検討会の模様をお寄せいただきました。泌尿器科は夜間オンコール体制からの退任を全会一致で決議されたとのこと、休日在宅医制度とも合わせた各診療科の今後を注視したいと思います。市内科医会9月例会の特別講演内容は学術コーナーに詳述されていますが、同欄の簡単なまとめもご覧ください。

各種報告は理事会概要、委員会開催状況、第2回医療安全管理研修会と第3回学校保健小委員会の模様です。今年度の救急医療週間行事や学校検診の総括、前半期の学校保健や健康教育に関する活動紹介も掲載されています。

附属施設だよりは医師会病院と検査センターの7～8月の実績です。会員異動等当会の動きや各種お知らせもご覧ください。

鹿市医狂壇のお題は「冷(つん)て」です。字面から想像しづらい読み方に四十路過ぎのUターン組として毎回新鮮さを覚えます。投句数の減少で選者がご苦労されている由、ジモティの先生方にもお助け頂ければ幸いです。

ワールドシリーズでのドジャースに一喜一憂し日本シリーズのセパそれぞれの魅力に目を奪われ、我らが鹿児島ユナイテッドのJ2再昇格を心から願う日々です。感染症流行を警戒し、経営状況に胃を痛めながらも好きな仕事ができる幸せを糧に過ごしています。高市政権にも期待しています。この国にも世界にもより良い明日がありますように。

(編集委員 關根 さおり)